

会 議 録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回上尾市環境審議会	
開 催 日 時	令和8年8月4日（火）10時00分～11時10分	
開 催 場 所	上尾市役所議会棟4階 全員協議会室	
議長(委員長・会長)氏名	磐田 朋子（会長）	
出席者(委員)氏名	小川 早枝子、小高 進、星野 良行、矢口 豊人、高橋 正一、 栞原 邦夫、鈴木 達也、松本 弘子、生井 圭子、井上 正樹、 池田 敬彰、鈴木 敏資、安田 信一 以上13名	
欠席者(委員)氏名	齋藤 昌斗	
事務局(庶務担当)	【上尾市】 環境経済部 藤田部長、本郷次長 環境政策課 鈴木課長、大橋主査、塩田主事 環境政策課ゼロカーボン推進室 岸室長、永島副主任	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 開会 (2) 委員紹介 (3) 議題 令和7年度上尾市環境年次報告書（案）について (4) その他 (5) 閉会	事務局案のとおり了承
議 事 の 経 過		別紙のとおり 傍聴者数 2 名
会 議 資 料		(1) 令和8年度第1回上尾市環境審議会次第 (2) 資料1 2025（令和7）年度上尾市環境年次報告書（案） (3) 参考1 第3次上尾市環境基本計画【改定版】成果指標進捗報告書 (2026（令和8）年度） (4) 参考2 第3次上尾市環境基本計画【改定版】事業活動指標進捗報告書 (2026（令和8）年度） 【配布】 (5) 上尾市環境審議会 委員名簿（第16期） (6) 令和8年度第1回上尾市環境審議会 席次表
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 2026 年 8 月 21 日 議長(委員長・会長)の署名 磐田 朋子 議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ)		

議 事 の 経 過

議事 令和7年度上尾市環境年次報告書（案）について

→事務局案のとおり了承

《議事要旨》

● 令和7年度上尾市環境年次報告書の進捗結果の報告

（１）自然環境分野

計画指標「自然環境の住民満足度」は、市民アンケートを実施していないため未評価。各施策の進捗度は、「緑地面積」及び「緑地率」を除いた各業務指標が達成できているため、おおむね順調。「緑地面積」及び「緑地率」については、維持を図るため新規保存樹林の指定に取り組んでいる。

（２）都市・生活環境分野

計画指標「都市・生活環境の満足度」は、市民アンケートを実施していないため未評価。「都市・生活環境分野」については、各施策の進捗度が全て50%上回っているため、おおむね順調。

（３）資源循環分野

計画指標「1人1日当たりのごみ排出量」は目標値を達成できたが、「ごみのリサイクル率」は達成できなかった。「ごみのリサイクル率」が目標値を達成できなかった要因は、活動団体の構成員の高齢化やPTAの解散などにより活動団体が減少したため。

（４）省エネルギー、再生可能エネルギー、地球温暖化対策分野

計画指標「市内のCO2排出量」、「人口一人当たりのCO2排出量」、「再生可能エネルギー導入容量」のいずれも、目標値を達成できなかった。今後は、住宅の断熱化や高効率給湯器、太陽光発電システムの導入について、住宅の状況に応じた情報発信や支援を実施するとともに、再エネ、省エネに関する更なる普及啓発に取り組む必要がある。

（５）環境づくり分野

計画指標「環境活動に参加したい」は、市民アンケートを実施していないため未評価。各施策の進捗度については、「環境教育・環境学習の推進」は、おおむね順調であるが、「協働による環境活動の推進」については、全ての業務指標の目標値を達成できなかった。今後は、当該施策に関する周知方法の再検討を行い、応募件数や参加者数の増加につなげ、取り組みが維持できるよう努める。

（６）業務指標の達成状況

令和7年度に進捗を測ることができなかった4つの指標を除いた63指標のうち、40の業務指標で目標値を達成できたことから、計画真直度は63%となった。50%から74%までを「おおむね順調」として評価している。

《質疑応答》

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
鈴木(達)委員	40 頁のごみのリサイクル率には、地域リサイクルによるものも含まれているか。
事務局	地域リサイクルによるものも含まれる。
矢口委員	63 頁に記載の業務進捗度について、目標のようなものはあるか。何をもって適正としているのか。
事務局	具体的な数値ではないが、5つの環境分野に紐づいた施策を各担当でやっているの、この計画で徹底して進捗管理をしている。全体的に何%を目指すというものは特にないが、当然、評価が「概ね順調」や「順調」となること環境にはよいという指標になるので、そこをめざしていくことになる。
事務局	例えば、63 頁の表の一番上に記載されている「緑地面積」や「緑地率」の目標値については、13 頁、14 頁に緑地面積や緑地率の目標値が設定されている。その目標値を達成できたかどうかで指標の成果を測っている。この目標値については、所管課から毎年度設定してもらっており、こういった指標が67ある。計画進捗度については、今まで「順調」を達成できたことがないので、それを目標に取り組んでいきたいと考えている。
矢口委員	具体的な数値目標は設定していないが、「順調」と言える 75%程度を全体としては目指していて、目標を達成できていない各事業については、改善策を練って、各担当で取組んでいるということによいか。
事務局	お見込みのとおり。
安田委員	2 頁の「計画の位置づけ」のところで、先程、事務局から「第3次上尾市環境基本計画【改定版】」については、昨年度の3月に発行されたと説明があった。今回の報告では、改定版の内容については盛り込まれていないとのことだが、改定版については、昨年度の3月に策定されたので、この位置づけに記載すべき計画も、改定版でよいのではないか。報告内容は、旧計画のものなのかもしれないが、この部分は変えてもよいのでは。
事務局	今回の年次報告は、令和7年度の内容である。本審議会で審議をさせていただいて改定をしたのが、今年の3月になる。この計画は、令和8年度の4月からとなる。順序としては、令和7年度 of 取組が終わって、令和8年度は改定版の計画で動き出している。
安田委員	それであれば、「第3次上尾市環境基本計画【改定版】」の表紙に記載の年月を令和8年3月ではなく、4月なのであれば分かる。
事務局	こちらの表紙に記載の年月については、令和7年度の3月、年度末に改定はされている。今回の報告については、令和7年4月の年度当初から年度末にかけての報告をさせていただいている。新年度の年度当初から改定版の計画に沿って、各施策を実施していくためには、前年度末に計画を策定しておく必要があったことから、改定版の策定年月を令和8年3月としている。また、今回は、旧計画に則った報告をしているので、「計画の位置づけ」に関する記載については、現状のものが妥当であると考えている。
磐田会長	改定版の計画に掲げている指標と関連しているものとして、参考資料があるのではないか。
事務局	こちらの「参考1」、「参考2」の資料については、今回の年次報告とし

	て公開する資料ではなく、あくまでも各委員にご確認いただくために用意した資料である。こちらの資料については、改定版の計画に基づいて新たに設定した指標の一覧となる。これらの指標については、今年から達成状況を測っていくこととなり、今後5年間、皆様に進捗状況等をご審議いただくことになる。先程の年次報告書については、旧計画の進捗状況を報告するもので、今ご覧いただいている「参考1」、「参考2」の改定版の指標と旧計画の指標とでは一致していないものがある。年次報告書に記載の「3. 計画の位置づけ」に記載の計画を改定版にしまうと、指標の確認等をする際に改定版を参照してしまうことにつながりかねないので、今回の年次報告書に係る計画の位置づけについては、現在のものがよいと思っている。 改定時期を前年度末としている理由は、新年度当初から改定版の計画でスタートが切れるようにしたためで、今年度以降は、「参考1」、「参考2」の指標に基づいて、設定させていただければと思っている。また、こちらの新しい指標については、今までの目標値は、各所管課から数値目標のみを記載してもらっていたが、今回から目標の設定根拠についても各所管課に記載してもらうよう変更しており、目標設定が妥当であるか事務局で確認ができるようにした。 今回の年次報告書の「計画の位置づけ」に関する記載については、このままとさせていただきたい。
安田委員	了承。
小高委員	40頁の「ごみのリサイクル率」が前年度より悪化した要因は、構成員の高齢化だと思うが、事業者による資源回収の数値は、この率の中に含まれているということでしょうか。
事務局	現在、スーパーマーケットの資源物回収量を把握しようと動いているが、今回の報告の数値には含まれていない。
小高委員	リサイクルボックスを設置しているスーパーマーケットが増えていることや、若い世代の方は、買い物ついでにそこに捨てるというケースも多いかなと思う。これから、その情報を収集していくということで、全体像が見られるのかなと思う。よろしくお願いします。
安田委員	63、64頁で昨年度の環境全体の進捗率を評価しているわけだが、残念ながら、令和6年度の67%から令和7年度は63%となり4%ダウンしている。改善されなければならないのが、逆にマイナスになっている。全体としては、良い方向ではないと思っている。 13、14頁を見ると、「緑地面積」と「緑地率」が、いろいろな要因で上がらず目標を達成できないと説明されているが、取組状況等の記載内容が令和6年度と令和7年度で変わらない。何も進歩がない。取組を変化させることが大事だと思う。この年次報告書をチェックしているのが、全部署が集まって検討会をやって、この場に上程するという事になっている。年次報告の中身を見ると、この検討会は本当にやられているのか。目標を達成できていないのに、毎年同じことを書いている。緑地面積を増やさないといけないというのは当たり前のこと。本当にその取組が、なぜなされないのか。緑地の取得については、国から交付される森林環境譲与税を財源に、地権者に報奨金を配布しているというのは理解できるが、森林環境上税の積立目標額は達成できている。森林環境譲与税基金の積立額については報奨金を支払っても、なお目標以上に貯まっている。それと、緑

	地の買い取りや借り方のやり方。この取り組みが弱い。広い土地をまとめて取得したほうが管理が楽なのは理解できるが、所沢には「トトロの森の基金」というものがあり、小さな土地でも空いたところはどんどん買っている。現時点で、67か所くらいまで広がっている。家1軒分の小さな土地でも「トトロの保全地」という看板が立っている。そういう買い方もあるのかなと。相続の問題で売却されてしまうところを上手く買い取っていくと、最後にはそれが繋がるという可能性もあると思う。ぜひ、そういうところに目を向けて、買い方をどうするかというところの見直しが必要だと思う。相続で税金を払えず売ってしまうから緑地が増えないという理屈にはならないのではないかな。
事務局	今のお話は、ごもっともだなと思う。ただ、緑地率が上がっていくことを目指していくが、現実的には相続の問題などがある。考え方として、トトロの森のお話も聞いたところなので、市全体で有効かどうか検証する必要はあるが、考え方の一つとしては進めるべきだなと思う。
安田委員	付け加えさせていただくと、18頁の「森林環境譲与税基金積立額」は、目標値2,587万7千円に対して、実績が2,722万5千円ということで目標を達成している。令和6年度と令和7年度を比較すると増加傾向にある。CO2削減のために、上尾は2050年度までにゼロカーボンを目指しているが、それを達成するためには、家庭や事業所でCO2の削減ができない部分は、森林の吸収量で賄う計画となっている。だから、緑地を取得しても損にはならない。お金でCO2削減量を買ってくる方法もあるかと思うが、そういうものを買ってくるよりは、財産を作った方がよいのではないかと私は思う。
事務局	本市は、片品村とカーボンオフセットについて提携していて、6tほどCO2を削減している。上尾に森を残したいという視点とは違い、林業をやっているところでないCO2削減のためのカウントにならない。この点を踏まえ検討し、片品村と協定を結び進めていったという経緯がある。一方でCO2削減を具体的に考えれば、森林を増やせば当然削減されるだろうというのは、そういう考え方自体はありだと思っている。やはり、自然は残すべきだという観点はあるので、今のお話についてはごもっともだと思っている。
事務局	緑地面積に関する取り組みで、記載内容が前回と変わらないという点については、事務局でも所管課に対して、実績値を改善させるために何か取り組んでいることはないかというヒアリングを行っている。こちらに記載はしていないが、所管課からは戸崎公園の北側にある良好な緑地を保存樹林として指定できないかということで地権者に当たっているとのことであった。現状と全く変化がないわけではないことを報告させていただく。
小川副会長	上尾市は、早い話がお金がない。それは残念なことだが、もともと「みどりの基金」というのが上尾にはあった。市税の1%を、緑地を購入したり、自然を守る活動等に使うという画期的な制度があったが、現在は、形だけの「みどりの基金」となってしまった。こうした紆余曲折あるが、それでも上尾市は、市民も頑張っていくので、ささやかではあるが、市民運動としては、いくらかは進んできているだろうと。行政だけに頼っている時では、もうないので、みんなで力を合わせて、唯一CO2を吸収してくれるのは自然なので、緑の基本計画を素晴らしいものにしていかなければいけないと改めて思ったので、一言申し上げる。
安田委員	ぐるっとくんの年間利用者が、値上げの影響で減ってしまったと書いてある。また、後段では「新たな公共交通の社会実験に向けた取り組みを開

	始し、公共交通機関の充実を図る」とあるが、上尾が桶川、北本、鴻巣と比較して遅れていると言われている。何が遅れているか、認識しているか。
事務局	遅れているという認識はない。
安田委員	デマンド交通が入っていない。上尾では実施されていない。なぜ、行わないのか。広報では、UDトラックスのバスを利用して地域のほうに回すと記事があった。それも一つだと思うが、NPOや環境団体はそういうところを指摘している。
事務局	ぐるっとくんについては、改定の影響があったことは把握している。今後、どうなっていくのかというのを見据えるべきだと思う。デマンド交通については、山間部等でのもの。上尾市に必要性があるかというのをもう少し研究すべきだと思う。市民や議員からの要望もあるので、研究し結果を出すものだと思うている。
磐田会長	こちらに記載されている「新たな公共交通に社会実験に向けた」というところの具体的な内容については、如何か。
事務局	UDトラックスの社員用のバスの空き時間を錦町の方面で走らせて、その地区の方に利用していただくという社会実験を行っている。
磐田会長	つくば市は、山間部でなくてもデマンド交通がある。いろいろな考え方はあると思うが、住宅街中心のところでの公共交通の在り方というのを、他市の様子なども見ながら、今まさに情報収集されているところだと思うので、引き続きご検討いただきたい。
鈴木(敏)委員	33 頁の「2. 環境目標に対する評価」で「コメ以外の農作物についても学校給食に取り入れ」とあるが、「参考2」のNo. 10 の指標では、コメについての記載しかない。コメ以外の農産物についても、学校給食に取り入れているのか。コメ以外の農産物の利用も促進すべきだと思うが。
事務局	指標としては、上尾市のコメを学校給食で何回使ったかということを設定している。ただし、今回の年次報告でも挙げられているが、コメ以外の学校給食の農作物としては、小松菜や枝豆などは、毎年使用されているということで報告を受けている。具体的には、小松菜の粉末を加工して揚げパン、すいとん、ちくわの揚げ物に使用している。また、枝豆については、ホワイトソースに混ぜ込んでグラタンにしている。今年に限らず、毎年、何らかの食材を使って、学校給食で提供していることを確認している。
矢口委員	計画の建付けを理解したいのだが、例えば、「第3次上尾市環境基本計画【改定版】」の12頁でいうと、「自然環境の住民満足度」を2030年度までに25%にするとか、13頁の「都市・生活環境の住民満足度」を35%にするとか、これも住民満足度であるが、これが各分野の一番大きい目標としてあって、この目標を達成するために、細かな施策の指標の進捗管理を毎年やっていて、それが概ね75%を達成できていれば、この長期目標を達成できるという理解でよいか。
事務局	お見込みのとおり。
矢口委員	そういうことであれば、住民の意識調査の内容が、各施策の内容と合致していくものだと思うが、意識調査の内容は、改定版の計画内に掲載されているのか。
事務局	12頁や13頁に掲載されている指標については、改定前の計画の目標である。改定前の計画では、アンケート調査の結果による指標が多かったので、今回の改定で改めさせていただいた。アンケート結果のみだと、矢口委員の仰るとおり、設問の内容や、アンケート時の時勢の影響を受けてしまって、施策の積み上げで評価していくことが難しいのではないかと思います。

	うご意見が審議会や庁内の会議からも出た。旧計画の計画指標に当たるものについては、改定後の計画では、例えば52頁の「緑地面積」、「都市公園面積」といった数字で追えるものに変更している。こうした変更を行ったことで、施策の積み上げで目標を達成できるのではないかと考えている。
安田委員	年次報告書の49、50頁の実行施策⑥の取組内容「公共施設29施設と小中学校33校を対象に、再生可能エネルギー100%の電力を調達するための入札を行い、R8.3.1より供給を開始した」ということは、ここで使っている電気はCO2ゼロだという意味合いでよいのか。
事務局	お見込みのとおり。
安田委員	電気だけではないが、ここだけはゼロカーボンが達成できている。自然エネルギーで作られた電気を使っていますよということで、これは素晴らしい施策だと思う。ここに記載のある公共施設29施設と小中学校33校で市の施設は、全て網羅されているのか。また、新電力とは契約期間等、どのような契約を結んでおり、コストは以前の契約よりも下がっているのか。 なお、このことを事業者や家庭にPRしないと浸透していかない。PRを積極的にやっていかないといけない。ぜひ、よろしくお願いします。
事務局	市の全ての施設を対象としているかという点については、高压電力を使用している施設を対象としており、使用量の少ない低压電力の施設は対象外となっている。また、高压電力の施設の中でも、施設の改修や既に指定管理者が独自に契約を結んでいる施設については対象外となっているが、できる施設では全てやっていきたいと考えている。 電力料金については、入札の結果により、今までの料金よりも下がった。契約期間は1年契約で、世界情勢等で電気料金が上下するので、電力会社も先が読めないということを忌避しており、1年契約でないとできないと話を伺っている。
磐田会長	今回の取組を市内の事業者等に広げようとすることは考えているか。
事務局	今後もこの入札は続けていく予定ではあるが、さらに拡大できるよう努めていく。PRにも力を入れたいと思う。
安田委員	事業者は、どこか。
事務局	入札に応札があったのが、コスモエネルギーソリューションズとタケエイでんきの2者になる。
磐田会長	本日の報告書については、大きな修正等がなければ、こちらでご承認いただきたいが、如何か。
一同	了承。

その他について

・令和7年度上尾市環境年次報告書の公表について

→令和8年8月中を目途に市ホームページにて公表予定であることを報告。

以上